

定住・移住支援事業を紹介します

平戸市では、少子高齢化および人口流出による人口減少を抑制するため、平戸市人口減少対策本部を設置し、「ずっと住み続けたい」、「住んでみたい」と思える魅力的なまちを実現するために、人口減少抑制対策に積極的に取り組んでいます。その中の重点主要施策の一つとしている「定住・移住」を促進するため、本市への新規転入者および市内在住者に対し支援事業を行います。

■お問い合わせ 地域協働課協働交通政策班 ☎内線2308

市内在住者住宅取得支援事業

対象者

市内在住者で、市内業者により住宅を新築する人

補助内容

住宅取得費の3%または30万円のいずれか低い額
ただし、高校生以下の子どもが同居する世帯は、高校生以下の子ども1人につき10万円加算



新規転入者住宅取得支援事業

対象者

新規転入者で市内において住宅を取得する人

補助内容

- 市内業者による新築 住宅取得費の10%または200万円のいずれか低い額
- 市外業者による新築 住宅取得費の5%または100万円のいずれか低い額
- 中古住宅(宅地代含む) 中古住宅取得費の7%または50万円のいずれか低い額

中古住宅改修費用支援事業

対象者

平成27年4月1日以降に転入した人で市内の中古住宅を取得する人または市内に中古住宅を所有している人

補助内容

居住するために家屋を改修するための経費および放置されていた家財道具の撤去に要する経費の2分の1(上限50万円)
※平戸市の空き家バンクに登録した物件に限ります。
※上記新規転入者住宅取得支援事業における中古住宅取得の補助と併用利用可

移住費用支援事業

対象者

平成27年4月1日以降に定住を目的として移住する人(※市内外の事業所間で転勤する人を除く)

補助内容

市外から移住する際に生じる荷物運搬料および交通費(有料道路代、燃料費など)の3分の2(上限20万円)

注意事項

補助金の交付を受けて5年以内に住宅を売り渡したり、居住しなくなった場合、または本市から転出することとなった場合は、補助金の全部または一部を返還していただく場合があります。

ずっと住みたいまち「平戸」へ向けて

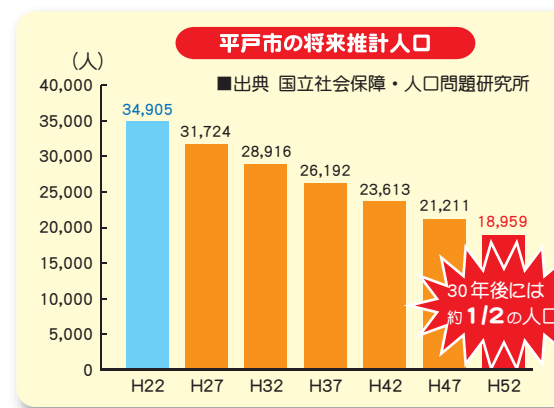
平成27年4月1日から

「平戸市ずっと住みたいまち創出条例」を施行します

■お問い合わせ 企画財政課企画統計班 ☎内線2335



本市の人口減少の速度は、県内他自治体より速く、国勢調査を基にした人口推計では、平成22年の34,905人が30年後の平成52年には18,959人と、約2分の1となる見込みとなっています。この急速な少子高齢化および若者世代の流出などによる人口減少の進行に的確に対応し、魅力あふれる産業の振興を促進するとともに、市民が安心して暮らし、次代を担う子どもたちを健やかに育成するために、市民・市民活動団体・事業者および市が一体となり、将来の平戸市の定住人口の維持と、市民がずっと住み続けたいと思えるまちを創出することを目的として、平成27年4月1日から「平戸市ずっと住みたいまち創出条例」を施行します。



基本理念

創出のためのずっと住みたいまち

- 1 地域の実情に応じた環境整備
- 2 長期的視野に立った行政サービスの提供
- 3 結婚、出産または育児について希望が持てる環境整備
- 4 魅力ある就業機会の創出
- 5 上記1~4について、市・市民活動団体および事業者が協力するよう努めること

条例には主にこれらのことを規定しています

市民の皆さんへ

- 1 ずっと住みたいまちの創出について関心と理解を深めましょう。
- 2 ずっと住みたいまちの創出に関する施策に積極的に参加し、お互いに協力しましょう。
- 3 持続可能なまちづくりに向け、次世代支援に関する施策に協力しましょう。

市民活動団体・事業者の皆さんへ

- 1 基本理念に配慮した事業活動を行いましょう。
- 2 ずっと住みたいまち創出に関する施策に協力しましょう。
- 3 事業活動を通じ、地域社会の持続的な形成に協力しましょう。
- 4 事業者は、雇用における環境整備に努めましょう。

市の責務

- 1 基本理念に基づき、総合的かつ戦略的に施策を実施します。
- 2 ずっと住みたいまちの創出に必要な情報の収集および提供、その他の支援を行います。
- 3 ずっと住みたいまちの創出に関し、市民の関心と理解を深めるよう努めます。

ずっと住みたいまちの創出に向け

- 雇用の促進
 - 産業の振興
 - 子育て支援
 - 定住・移住の促進
- に取り組みます!

皆さんへお願い

ずっと住みたいまち創出のため、例えば「子育て支援の学習会に参加する」、「通学路で見守りを行う」、「伝統芸能や地域の祭りをみんなで継承する」など、各種施策に積極的に関わっていきましょう。そうすることで、人と人とのつながりが増え、より魅力的なまちとなることが期待されます。子どもたちの未来のために、魅力的でずっと住みたいまち「平戸」となるよう、共に頑張りましょう。